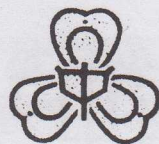


友よ!



東京・石中会だより

第6号

第7回

東京石中会の集い
レポート!!

発行 東京・石中会広報委員会 事務局/〒253-0072 茅ヶ崎市今宿 360-3-2-302 Tel.&Fax./0467-85-7631
平成22年6月7日



全員での記念撮影「ハイ、チーズ!」



最長老集団の3回生「先輩いろいろとありがとうございます」



5回生・井上広報委員長(左)による新役員の紹介



「群飛ぶ陽よー!」機かしの校歌斉唱でした

6月になった 第7回総会!

役員改選 首藤新会長と新役員で次代をつなぐ

第7回東京石中会「総会・集い」は、平成21年6月7日(日)「ニュートーキョー ラ・ステラ」で開催されました。今回の総会は、役員改選と会則改正が全会一致で議決されました。参加者は31名で、例年に比べてちょっと少なかったのですが、第2部の「東京石中会の集い」ではアットホームな楽しい集いになりました。今回の特徴は、若手で初参加(写真紹介)の方が何人か来られました。今後もしばらくの間6月開催となりますが、役員の方々の工夫で楽しい会にしてゆきたいと考えています。一人でも多くの参加をお待ちしております。

【若手の初参加者】

- ①12回生 南里憲三さん
- ②17回生 佐藤真木男さん
- ③33回生 井上俊次さん
- ④36回生 浅野 剛さん



ビンゴゲーム&参加賞受賞に
4回生・阿部剛夫さんを中心に
和やかムード



3回生からバトンタッチされた
8回生の首藤新会長(右)

石巻中卒南里さん 母校で講演

ザー』は、近年「若者の理数科離れ」に一石を投じる思いから選ばれたテーマである。講演が始まると直ぐに、「皆さんの身の回りで電磁波はどのようところで使われていますか?」と問いかけから始まった。電磁波やレーザーの物理的性質をプレゼンテーション画像でわかりやすく解説して、物理学は特別な理論ばかりではなく物性を応用して身の回りに多く活用されていると具体例を挙げて紹介した。講演の締めくくりとして「好奇心を持つことを忘れないように!」、「何事にも疑問を持つ探求心を心がけるように!」、「わくわくする情熱を持ち続けるように!」と後輩の石中生にエールを送った。講演後の質疑応答では「理科は好きだが数学ができないと物理は学べないか」や「原子の周りを電子が回っているが軌道を外れないのは何故か」など多くの質問が出された。終わりに生徒代表のお礼のことばと花束贈呈があり、70分の講演会が終了した。

後輩たちにエール

石巻市立石巻中学校(新妻牧雄校長、285人)の本年度の教育講演会が先日、同校で開かれた。卒業生で東海大学理学部特任教授の南里憲三さん(65)が、好奇心を持ちながら生活することの大切さを生徒たちに訴えた。

講演会は、各界で活躍する卒業生の講話を通じ、生徒に生き方な

「電磁波および原子とレーザー」と題した講演で南里さんは、原子の構造を示し、光が出る仕組みを説明。「エネルギーを与えられた電子が、元の状態に帰ろうとする。そのエネルギー差が光となって放出される」などと解説した。さらに光の応用であるレーザーについて、集光性が高いなどの特性を挙げ、「鉄板を切る事が可能なほどパワーが強い」などと紹介。生徒たちは、時折、メモを取るなどしながら、真剣な表情で講演に耳を傾けた。講演後の質疑応答では、「レーザーでミサイルを打ち落とすことは可能

ら始まった。電磁波やレーザーの物理的性質をプレゼンテーション画像でわかりやすく解説して、物理学は特別な理論ばかりではなく物性を応用して身の回りに多く活用されていると具体例を挙げて紹介した。講演の締めくくりとして「好奇心を持つことを忘れないように!」、「何事にも疑問を持つ探求心を心がけるように!」、「わくわくする情熱を持ち続けるように!」と後輩の石中生にエールを送った。講演後の質疑応答では「理科は好きだが数学ができないと物理は学べないか」や「原子の周りを電子が回っているが軌道を外れないのは何故か」など多くの質問が出された。終わりに生徒代表のお礼のことばと花束贈呈があり、70分の講演会が終了した。



今回の講演会は、多忙な南里教授の日帰り強行で実現したこともあって、

石中の玄関先で恐縮してお別れした。

南里教授の講話を受けて、石中生の中から一人でも多くの理数好きが増えることを願ってやまない。

南里憲三特任教授は石中卒業後、国立仙台電波高校から東海大学工学部電気通信科に入学し、途中で理学部物理学科に転科され、その後同大学で教職に就かれ、理学博士・教授・理学部長を経て現在に至っている。(同行記 飯田勝紀)

東海大 南里憲三教授 母校後輩に物理学を語る

東京石中会が母校石中で教育講演会行うようになって5年目になる。「第5回教育講演会」の講師は、東海大学理学部物理学科の南里憲三特任教授(石中12回生66才)にお願いした。

初冬の平成21年12月3日、石中の体育館は全校生徒300余人の熱気で溢れていた。演題の『電磁波および原子とレ

新会長就任ご挨拶 首藤 光春(8回生)

友愛を尊び和やかな互助精神を大切に

このたび二代目会長の重責を担うことになりました。同会も今年で9年目を迎えます。案ずるより産むが易しの勢いで創設された英断のホップ期。そしてステップの少年期に差しかかりました。

少しは知恵もつき健全な育成が求められる年頃です。順調に育て上げていくためには、会員全員、皆様の心ある協力がすべてです。3回生の先



輩諸氏が築かれた素晴らしい「東京石中会」をよりワンダフルに成長させるためにも、会員同士が、熱き心を燃やし続けることが肝要でしょう。和やかで互助の気持ちを大切にす友愛精神を優先させたいと念じています。会の目的である①会員の親睦②ホームページの充実③後輩の石中生への課外授業講師派遣継続がもとめられます。そのためには若手会員の積極参加が必須です。会への意見、アドバイスなどアタック精神を発揮してください。大歓迎です。年1度の総会集いでは同期との友情を暖め、先輩には敬意を持ちつつビジネスで役立つ人脈作りに役立ててください。後輩には優しい思いやりを見せてください。700名のアットホームな会に盛り上げていきましょう。フレー、フレー東京石中会!

短歌
読人 鈴木健司
静かなる川面を滑る舟一つ 投網の音に鳥の飛び立つ(悠々)
葦原の奏でる音は波に似て さざめく胸の秋の夕暮れ(河北)
匂い立つ金木犀の花の春に 思いはめぐる遠き過ぎし日(古今)

俳句 川柳
秋風に水面に映る色乱れ(仙郷) 妻の膝我に替わりて猫眠る(クールキャッツ)
畦道に赤き花見ゆ川田かな(古道) 浮気ばれワビ入れ サビしく枯れてゆく(枯山水)
襖絵の鶏もまどろむ春の風(白水) あらいやだ太って見えるわこの鏡(自己中)

ロシア人は日本好き

■経済大国・日本は新生ロシアの模範

1991年ソ連崩壊後、新生ロシアの日本についての報道はソ連時代の逆で、「戦後勤勉な国民性を発揮し、急速に経済大国となった日本は、新生ロシアの模範である」という論調が主流となりました。その所為でもないでしょうが、ロシアの人達は日本が大変好きなのです。これはマクロ的には日本製品の高品質、日本人の礼儀正しさ／謙虚さ／約束を遵守する信頼性や、清潔な国土などの日本の美点をバイアスなしで率直に認める、ロシア人の大らかな国民性によるものと思います。

■食では寿司ブーム

これをミクロで見ると、まず日本食ブームがあります。日本レストランは2008年9月のリーマンショックまでに、優劣を無視すればモスクワだけでも600店ほどになり、外国系レストランではイタリアレストランに次ぐ多さとのことです。味の割にはビックリするような値段ですが、ロシア人で大賑わい、またロシア・中華・韓国系レストランでも、その殆どに日本寿司コーナーがあってそれが繁盛し、更にスーパーでも持ち帰り用の寿司(これがまた高価)が良く売られています。このスーパーですが、大型店となると日本の郊外型大型店の2~3倍以上の規模で、モスクワの各地下鉄駅近辺に必ず1~2店舗あるので、モスクワだけで300店は軽く超えていると言われていました。大量消費時代の入り口に立ったロシアの1つの象徴です。話が逸れましたが、前述の日本食ブームは、日本食が健康に良いというロシアのマスコミの好意的な取り上げが、繁盛の一助なのは間違いないでしょう。

■スポーツでは日本武道

食以外では生け花や茶道などもロシア婦人層では静かなブームです。何事も大振りなロシア流には無い、繊細な美しさ、静

謐な落ち着きが受けているようです。更に、柔道・空手・合気道などの日本武道も大変盛んです。モスクワには500くらいの道場があると言われ、ロシア武道連盟には500万人以上の会員がいるそうです。単なる技や体の鍛錬だけでなく、



左が筆者

武道の真髄を迫及する人達が非常に多いのがロシアの特徴でしょうか。武道と言えばブーチン首相は、「柔道が少年時代に不良だった自分を矯正してくれた。柔道は哲学である。柔道が無かったら今の自分はなかった。」と公言するほど傾倒しており、日本講道館から6段位を贈られ、柔道に関する著書もあるほどです。この影響もあってか彼の双子の娘さんの一人は大学で日本語を専攻しているそうです。相当な親日一家ですね。

■日本人も親ロシアになろう

以上から容易に推察できるように、日本はロシア人の好きな国の常に3位以内に入ると言われます。翻って日本はロシアが嫌いと言う人が多い国柄で、このアンバランスは残念です。今後アジア、特に東アジアの政治経済情勢の大きな流動化の中で、国としての日本とロシア相互の関わり方は、大きく変わっていかざるを得ない訳ですが、皆さんがその潮流に晒された時、前述したロシアの国民性の一側面を是非思い出して頂きたいと思います。

山口広治・18回生 ギガテックコーポレーション社長
立命館大学院客員教授 元丸紅モスクワ支店長

石巻生まれの日光東照宮

日光に石巻生まれの日光東照宮模型(縮尺10分の1)が展示されているのをご存知ですか。

その模型は栃木県日光市にある日光だいや川公園だいや体験館に常設され、東照宮まで行かずとも気軽に東照宮を観る事が出来ると多くの人々が楽しんでいるとのことです。

この模型の由来は、大正10年ごろ祖父青沼紋之丞が15分の1の日光東照宮模型を手に入れ中瀬の岡田座で日光博覧会として展示したのですが、その模型は満足出来る物では無かったので、より精巧な10分の1の模型の製作を思い立ち、富山県高岡市の彫刻師十二町仁三吉氏に製作を依頼、大正12年から6年の歳月をかけて製作したもので、完成後東照宮からも非常に高い評価を頂いていたと聞いています。

完成後、昭和3年開催の名古屋博を皮切りに国内博覧会の常連として出展、戦後は神戸で開催された貿易博覧会に展示のほか各地での単独展覧会や、海外からの展覧会引き合などがあつたりで、日光に行かずして日光を見られたと特に地方の人々の娯楽に寄与していました。

当時、博覧会や単独の展覧会はほとんどが春と夏の1~2ヶ月で、私が手伝えるようになった学生時代には夏休み、春休みには必ずと言って良いほど準備から仕上げまで付き合ったものです。

しかし、展覧会は主催者が公的なものは問題無いのですが、単独の展覧会にはほとんどに興行師がからみ、入場者が少ない開催場所では我々の努力不足のせいにされ、準備資金を返さねば模型を叩き壊すと脅されたり、包丁を突きつけられたり、一日の食事がうどん玉一つとコッペパン1個などの生活でも模型を守ったこともありました。

このような不安定な商売に不安を持ち、かねてより模型の売却先を探していた昭和30年に、主にペニシリンを製造していた薬品会社の社長への売却話がまとまり、高額なため約束手形による分割払いで模型を引き渡しほつとしたのも束の間、昭和31年のペニシリンショック事件で薬品会社は倒産、手形3枚目から不渡りになった上に模型の在り処も不明となってしまいました。

それから40年後の平成7年、東武百貨店の所有になっていた事がわかり40年振りの消息は驚きとともに模型が無事だったことが信じられない思いで、東武百貨店宇都宮店リニューアルオープンでの展示会に招待され40年ぶりに対面した時には、今は亡き父と共に苦労した当時の事を思い起こし喜びと興奮の涙が止まらず写真撮影に大分時間がかかってしまいました。

東武百貨店では「模型を手に入れてから修理をしてみたらあまりにも見事なもので、東武百貨店で持っているべきものではなく、日光市か栃木県に寄贈し多くの方に見ていただくべきだと思う」との事で、模型としてもそれが一番相応しい事と東武百貨店の心遣いに感謝でした。

現在の所有者は栃木県となりましたが、このような歴史を経た石巻生まれの東照宮模型を、是非皆さんにご鑑賞いただきたく紙面をお借りし紹介させていただきました。

青沼義信・3回生



シリーズ・故郷行脚・その3

知っていますか？石巻の、あんなこと、こんなこと・・・

■ガンバレ石巻！

私が小さい頃(もう30数年前)親に連れられて買い物といったら、北上川沿いにあった「丸光」でした。石巻で唯一の「デパート」ということで当時たくさんの方が行き来していたのを覚えています。

私が生まれる前は「丸光」付近に石巻警察署があり、社交場の石巻クラブや料亭等があり、一番の賑わいだったそうです。他に広小路、大町通り、坂下通り、本町通り等にたくさんのお店が並んでいたそうです。

ところが車を中心にした生活が普通になり、また石巻駅裏を中心に大橋から続くバイパス方面に住宅がたくさん作られた結果、大型のスーパーやファミリーレストラン等ができ、人の流れが変わってしまいました。ここ最近では、仙台から有料道路(三陸道)が完成し、石巻のインターチェンジが蛇田にできたことで、今度は蛇田地区に大型ショッピングセンターや大型電気店ができ、どんどん石巻の旧市街地はさびれています。

私は今年の3月22日(三連休の最終日)に石巻に帰り、石巻駅前から立町～仲町～広小路～坂下通りを歩いて石巻小学校あたりまで歩いてみました。祝日の振替休日ということでした

が、半分近くがシャッターを開けており、開いているお店にしてもお客さんが入って賑わっている様子はありませんでした。まだ昼間だというのに歩いている人も少なく、閑散とした風景だけが目に焼きついています。



「シャッター通り」となりつつある大町通り

今年の4月に日和山の麓にあった石巻市役所が石巻駅前に移転することになり、今まで以上に旧市街地は人通りが減り、商店街は活気がなくなっていくの

ではないでしょうか。

私たちが生まれ育った街に少しでも活気が戻るように、みんなでアイデアを出していきましょう。

浅野 剛・36回生



人通りがない立町通り



旧丸光石巻店(もうすぐ解体されるようです)



駅前にできた市役所新庁舎

INFORMATION

私設資料館 「うつきはら梅圃」OPEN!

昨秋11月28日、石巻田道町に私設の石巻資料館がオープンし話題を集めている。開設主の伊藤智子さん(8回生)が自宅敷地内に幕末から明治、大正、昭和にかけての絵、書など自宅の蔵に眠っていた旧石巻ハリスト正教会資料や絵師・河鍋暁斎の「七福神酒宴図」、漢学者・大槻磐溪の扇面書、フランク安田の父・静娯が学んだ儒者・赤松寸雲の作品など貴重な資料100点



伊藤 智子さん(8回生)

余が展示されている。伊藤さんの祖祖父忠右門さんが北上川河口で商いをしていたことで収集。父義男さんが開設した山下保育所の当時の資料もある。故郷を訪ねた折には一見の価値ありだ。伊藤さんは「河口で栄えた当時の石巻の生活を知る手がかりになる資料もあるので気軽に立ち寄ってください」と歓迎している。

入場料無料、開館日は毎週、土、日、月の午後1時から4時半まで。問い合わせは0225-22-2563まで。

石巻の活性化、商店街の活性化のため、頑張っています。

電話 0225(22)2128 栗野蒲鋒店	水産庁長官賞に輝く名品 井上海産物店 電話 0225(22)1030	海産物のお土産なら そば処 もりや 電話 0225(22)1842	老舗の美味しいおそば宴会合 浜長 電話 0225(93)5150	四季折々の磯の香りをどうぞ 藤間流師範 藤間京緑 (旧姓・猪股美智子) 電話 0225(96)7080	日本舞踊稽古所どうぞ(山下町) 寶来寿司 電話 0225(22)1258	味が宝のれんも宝の老舗 サルコヤ 電話 0225(96)3658	玩具や楽器のことなら
---------------------------------	---	--	---	---	---	---	------------

訃報

東京石中会 初代会長 秋月英美氏 逝く。

秋月英美氏は昨年(2019年)の3月頃から体調をくずされ入退院を繰り返していましたが、8月13日75歳で逝去されました。

惜別

秋月君、(同期生としてこう呼ばせてください) 75歳の早すぎる別れ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

私達が知り合ったのは、昭和22年太平洋戦争後、学校制度が変わり、新制中学校1期生として入学した時だった。(卒業は3回生) 小学校(当時国民学校)から全員が揃って進級する形で殆どが顔見知り、だが、彼は中学からの入学のようであった。

当時も“いじめ”はあり、転校生などがその対象にされたことは今と変わらなかったが、秋月君は成績優秀、それを鼻に掛けることも無く、よく遊び、適当な悪ふざけにも参加、みんなとすぐ仲良くなり、人気者だった。もう時効の話だが、“試験の山掛け”などを手伝ってもらい恩恵をこうむった仲間も多かったようだ!!

彼の一番、名をなさしめた事は石巻中学校出身者は勿論のこと、石巻高校から始めて東京大学に入学したことだ。高校時代には、大学入試のためのガリ勉の感じも無く、生徒会長をつとめ、また、当時唯一プールのあった石巻高校、県内では強豪で知られる水泳部にも所属し、自由形長距離の選手でもあった。東京石中会3回生の坂本君、水沢君たちも仲間選手として、まじめによく練習した、と、楽しかった思い出を話してくれた。

その一つとして広島国体の時、石巻高校から多くの選手が選ばれ石巻高校の小野先生が宮城県チームの監督、選手間で絶大の信頼があった秋月君がマネージャーとして参加、石巻高校水泳部を不動のものにした陰の功労者であった。

秋月君は東大工学部冶金学部卒業すると同時に川崎製鉄(現在のJFEスチール)に就職、日本の高度成長期、昭和40年代は国内の製鉄所建設に従事していた。その



後、昭和49年頃、ブラジル政府からの要請があったビトリア市ツバロン地区の国営製鉄所建設へ川鉄が参画することになり、ブラジル、イタリア、日本、3カ国によるツバロンプロジェクトが発足した。川鉄から派遣された秋月君は最初から参加、その後、1期、2期工事を担当、途中中断する時期もあったが、通年18年間このプロジェクトに携わっていた。その間、日本国内では経験したことのない、数々の難問題にも遭遇したようだ。特に後半4、5年は製鉄所の所長役を務めた時期、ブラジル国営から民営化されたので、苦勞も多く大変のようだったが、見事にそれらの職務を果たされ、1992年9月に帰国された。

この事業をやり遂げたことは彼の一生の仕事として誇れるものであろう!

我々同期生とのお付き合いが再開されたのはそれからである。同期会などにも参加するようになり、話の中から石中会の東京同窓会が無いのは寂しい限りであり、実質的始めての卒業生として学校に恩返しをすることを考えよう、と。4回生、5回生、8回生有志などと“東京石中会”を立ち上げ、その初代会長として、その礎をきずいたことは皆様の知るところである。

次期会長を後輩にゆずり、我々3回生はこの東京石中会を陰から応援しながら、ゆっくりと第二の人生をお互い楽しもうと話し合っていた矢先、病に伏し、そのまま帰らぬ秋月君、まことに残念でならない。

新執行部も決まり、これからの東京石中会のますますの発展を約束し、惜別の言葉とする。

(前東京石中会副会長 阿部 剛・3回生)

「長嶋・王に学ぶ人づくり」講演好評

宮城県ふるさと協議会(小野寺喜美夫会長)が主催した「長嶋・王に学ぶ人づくり」をテーマに2月20日、上野公園グリーンパークで開催された。講演者は首藤光春さん(8回生)で元ベースボールマガジン編集長の経験を生かした熱血トークに150人満席の会場は盛り上がった。記憶の人・長嶋、記録の人・王両スーパースターの秘話を中心に鋭意努力精進の凄さをスライド映像と解説を交えての2時間



近い熱弁は好評を博した。同氏は団体、サークルなど要請があれば駆けつけるとのこと。

気軽にご相談ください。

弁護士 鈴木雅芳

(26回生)

多田総合法律事務所

〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル3階
TEL:(03)3597-8855 FAX:(03)3597-8856
E-mail:suzuki@ts-law.jp

新役員 ご紹介

平成22年1月から3人の新しい役員が加わりましたので紹介します。

①9回生の市川洋子さん ②18回生の山口広治さん ③36回生の浅野 剛さん

昨年の役員改選で若干若返りましたが、この3人が加わり更に若返りました。よろしくお願ひします。

年会費の納入、有難うございました。

平成21年度の年会費は、164名の方々から振込みがありました。平成20年度は、「総会と集いの会」が開催されませんでした。大勢の会員の皆様から年会費の納入がありましたことに、役員一同熱く感動しております。これからも母校・石巻中学校発展のため、支援として実施されている講演会等の活動に力を注いでいきたいと存じます。紙面を借りまして、納入いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

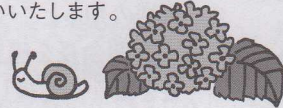
●平成21年度・東京石中会・年会費払込者名簿

(第3回生)大木郁子、嶋田寿子、河野不二子、後藤久男、水澤昇、坂本武久、猪狩和子、佐々木裏、結城常明、加藤英子、阿部剛、小林敬子、武山勝、秋月英美(ご逝去)、千葉邦子、秋保光子、森山滋之、柳館淑子、青沼義信(第4回生)阿部剛夫、金野和夫、河崎昌子、菊地桂子、大熊正子、大西葉子、森田亨子、井上英治、平山稔(ご逝去) (第5回生)鈴木恵美子、猪俣昌子、松本悦子、上原藤三、渡邊寛治、阿部忠男、岩井和子、佐藤玲子、越後京子、小松悦子、亀井彰朗、北村忠二郎、佐藤仁子、島子妙子、菊田淑子、早川幸子、高村多恵子、石井弘志、井上勝夫、遠藤明夫、阿部道子(第6回生)久道勝信、長崎紀久子、細川金子、藤澤俊、中村繁子(第7回生)芳賀鐵夫、田上富美子、橋本洋二(第8回生)畠山尚、市川洋子、山手てい子、川島あつ子、高嶋展広、首藤光春、樽見和子、高橋静子、関春美、今野ひさ子、御牧道子、古胡満子(3口)、梅沢治子、鈴木健司、金森喜美子、橋本照嵩(第9回生)青山さわ、田籠美子、梓田洋子、加島恵美子、加藤行雄、飯田勝紀、高橋紀子、菊池正、伊藤幸子、伊藤幸子、高橋洋治、喜友名典子、小泉勝子(第10回生)角田守弘、菅ノ又桂子、杉山富子、高泉政勝、館克憲、奥村カツ子、勝又勝、斉藤繁治、斎藤宣子、川野澄子、田代勝彦、緒方正子、矢澤節子(第11回生)中島富子、鳴海佳子、菊地保夫、栗原光男、高井篤三、後藤永子、渡邊みよ、高橋和子(第12回生)吉田義男、堤和子、岡崎好子、今井あい子、奥田捷治、夏目都喜子、安田淳子、奈良坂仁、村上秀一、金澤洋、千葉聡子、南里憲三、森田光子、岡崎国男、小林美智子(第13回生)星貞子、佐々木次臣、藤村綾美、佐々木文江、小堀敦子、赤塚誠哉、岡田ちづ子、勝島節子(第14回生)梅沢歌子、鈴木照子、高橋真理(第15回生)山形昌子、星 憲夫、星澤晋、畠山清光、今井恵子、今野和子(第16回生)青山憲介、葉良枝、坂口いく子、星澤正孝、森岡芳明、大久保和夫(2口)、吉田義弘、岡康博、蘭田美智子(第17回生)佐藤真木男(第18回生)出雲雅明、石森邦昭、浅野和雄、高梨誠、遠藤加寿子(第19回生)杉山茂(第20回生)茂泉吉則(第26回生)鈴木雅芳、高橋祐子、大久保多賀子(第36回生)星野知倫、菅原洋樹(第37回生)浅野剛(第43回生)佐々木典雄 (以上順不同)

※会費を納入された方で、お名前の記載がない方は事務局までお知らせくださいませう。

お振込に際してお願い

窓口を通してお振り込みされますと、手数料が120円徴収されます。振り込み用の機械(CD)で振り込まれますと、手数料は100円となります。出来るだけ、振り込み用の機械(CD)でお振込みされますよう、お願いいたします。



東京・石中会への寄付

東京・石中会も今年で9年目に入ります。会の運営は、基本的には同窓生皆様からの貴重な年会費を財源としておりますが、事務費用その他の活動で、財政的にはまだまだ脆弱な面を有しています。

東京・石中会では、引き続き皆様からの貴重なご寄付を受け賜っております。ご芳志は、下記事務局長宛にお送りくださいますようお願いいたします。 飯田 勝紀

〒253-0072 茅ヶ崎市今宿360-3-2-302

〈東京石中会〉ホームページ開設のお知らせ!!

念願のホームページを開設しました。東京石中会の情報だけでなく、石中や石巻情報なども載せてあります。是非ご覧ください。

<http://book.geocities.jp/tokyosekichukai/index.html>

第8回 **東京・石中会** 6月6日(日) 開場: 11:30 開宴: 12:00

ニュートーキョー 数寄屋橋本店9階「ラ・ステラ」千代田区有楽町2-2-3

編集・広報
委員会スタッフ
委員長 井上勝夫
委員 首藤光春
委員 鈴木健司

事務局長 飯田勝紀

「東京石中会」が設立されてから9年目を迎えることになりました。会の主たる事業活動は①毎年6月に行われる「総会・集い」の開催 ②会報「友よ」東京石中会だより」の発行 ③母校への「教育講演会」講師派遣で、年を重ねることに充実してきました。更に今年からホームページを開設し、関連情報を提供したいと取り組んでいきます。事務局が掌握している昨年の会員数は685名で、すべての方に会報を送付した総会案内を郵送してあります。会の運営は、このとき同封した振込用紙により納めていただいている1000円の年会費によって賄われておりますが、年会費納入者は153名で、この額ではとても間に合いません。不足分は有志の方々からの寄付金と会報の広告料で補っております。事務局からのお願いですが、会の維持発展のために年会費の納入に一人でも多くのご協力をお願いします。

事務局だより

宛先: 東京・石中会 事務局
飯田 勝紀 〒253-0072
茅ヶ崎市今宿360-3-2-302

投稿、大歓迎!!
石巻での思い出、中学時代のことや最近石巻を訪れて感じたことなど、何でも結構です。
皆様からの投稿をお待ちしております。投稿にはお名前、ご住所、回生、電話番号を明記の上、2000〜4000字くらいにまとめて左記事務局まで郵便でお送りください。

感想・意見をお寄せください
「東京石中会だより」第8号はいかがでしたでしょうか。皆様のご感想やご意見をお聞かせください。皆様からの声を活かして、皆様から愛される広報紙にしたいと思ひます。